

学校だより
「まんだ」
No.9

自他を大事にする子供 学び続ける子供 共に未来を切り拓く子供



認める力

やりぬく力

表現する力

まずはお礼

8月30日(土)の万田小応援団の奉仕作業には、早朝から、また暑い中、多数お集まりいただき、ありがとうございました。おかげさまで、運動場も室内も見違えるようにきれいになりました。

先日、教育事務所からの学校訪問がありましたが、その中で、「校庭の草が、きれいに刈ってありますか、あれはだれが草刈りをされるんですか?」と言われました。正直に「普段は、用務員の先生に刈ってもらうんですが、先日は、万田小応援団の方に早朝から来ていただいて、草刈、草取りだけでなく、室内もきれいにしていただきました。」と答えたところ、「運動場の奥の方、校舎の裏の方まできれいに刈ってあってびっくりしました。ありがとうございます。」と言われました。いつの間に見ておられたのか、こっちがびっくりしました。

普段手が届かないところに、手をかけていただいたことは、もちろんうれしいことですが、こんなにもたくさんの方が学校を応援していただいていると思えることが、学校としてどれだけうれしいことか。※労力的な力添えもですが、むしろ精神的な力添えが本当にありがたく、改めて、お礼申し上げます。

さらにお礼

「おかげさまで、夏休み中の大きな事件や事故はありませんでした。」このことを、私は、いろんな場所で声に出して言っておりますが、先日、毎朝、交通指導に立っていただいている方にも、「おかげさまで、これまで大きな事故がありません。ありがとうございます。」と感謝の気持ちを伝えました。すると、「そうでしょう。もう少し何かあってもいいと思うんですけど、たまに、保護者の方から飴玉をいただくくらいですかね。私は、それをおいしそうにいただきます。」と、その飴玉をいただいたという保護者を交えて、冗談も含めおっしゃっていただきました。

暑い夏も寒い冬も、雨の日も風の日も、毎朝、子供たちのために交通指導をしていただいている方がいる。感謝の気持ちでいっぱいです。そのことを、保護者の方にも知っていただきたく、学校だよりに書きました。

あれれ?私も、我が子が小学校に通っているときには、通学路に立ってくれていた方がいらっしゃったはずで、我が子もお世話になったはずです。うちの子は、ちゃんと感謝の言葉を言っていたらどうか?「おはようございます。」と元気のいい挨拶をしていただろうか?帰ったら、息子に聞いてみよう。

「流れ」を見つける

いったい何のことかと言いますと、4年生理科「雨水のゆくえと地面の様子」の学習のこと。ここでは、地面に降った雨が、一部はしみ込み、一部は谷に集まり川となって海に流れる。ということを学びます。

ところが、子供たちに「川に水はどこからきてどこに行くの?」と尋ねてみると、「海から来る」という子供も結構います。高い・低いがあまり意識できていないのかもしれません。そこで、力ギとなる考え方は「水は低いところに集まる。」「水は高いところから低いところへ流れる。」です。



学校の駐車場にも、高低があり、流れがあります。ビー玉を転がして「流れ」を見つけて矢印を置きました。

心を洗う

酷い暑さ(文字通り酷暑)のなか、9月13日(土)に四山神社の秋季大祭に行ってきました。

10時からの神事に間に合うように、石段を2段飛ばしで駆け上がり、今まさに神事が始まろうとしているところに、私一人があわただしく滑り込みました。激しい息切れと、全身からあふれ出す汗で、赤っ恥を書きながら、うつむき加減で神事に参加していると、「心静かにお待ちください。」との禰宜の言葉。「私のことか?」と、汗をふきふき顔を上げたところに、「洗心」の文字が書かれた額が目に入ってきた。「心を洗って、出直してこい」という、神様のお告げかと思いました。

神事が終わると、小中学生の巫女舞がありました。万田小からも、4年生4人が巫女になり、舞を披露しました。なんとも素晴らしい、涼しげに舞う巫女の姿に、夏の暑さを忘れ、心が洗われる思いがしました。



四山神社の長い歴史、それを受け継いできた人々の思い、昨年から練習を重ねてきた巫女の姿、どれも本当に尊いものだと思うのです。